

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO. 17

新年度にむけて

連盟理事長 川路 昌治



新年になって、すでに二ヶ月半が過ぎ春弥生の季節を迎えています。気象庁のまとめによると、今冬は「暖冬」と判定されました。昨年11月から2月までの平均気温がほぼ全国で

平年を上回り、特に2月の東京の平均気温は大正12年の観測開始以来最高の8.5度を記録したということです。さらに、日照時間も長くなり、全国153の地点のうち39の地点で観測史上最長を記録したことも報告されています。そういえば「冬日」を感じないことが多かった。南極の氷河が急速な勢いで溶けだし、海水面が上昇中であるとか。

記録を塗り替える冬の平均の気温上昇も、物作り最優先の文明が地球環境を益々悪化させ、変化させていることに原因がある。温暖化は地球の隅々まで及んできたという、深刻な問題のようです。

利益と効率のみを追求結果起こる自然破壊・優劣を競い合うことで深まる人間の対立。日々の発展の陰に追いやられた問題、心の豊かさに目を向ける時代が来ている。そのような時代に麗しき世を守り、万和合の力で自己研鑽を積む合気道が益々世界に広がっていることは、価値高いことです。

当連盟も微増ながら加盟団体も増え着実に歩んでいます。また、県連の行事は年々中身が充実してきました。昨年、7月の合同講習会では、県下21団体181名の参加を得て盛大に行われ、また少年錬成会も12団体198名の参加で、充実した錬成会となりました。これも偏に、各団体の普段のご努力・精進の賜と、感謝申し上げます。こころの時代に応えるべく、心身一如の理念を一層高く掲げ、今年も力強く邁進しましょう。

県連・新年会 : 平成16年1月25日

—— 7団体14名で盛大に！

1月25日(日)午後5時半より、和光市「養老の滝」において年始恒例の県連理事会主催新年会が、14名の参加のもと盛大に開催された。

最初に、川路理事長より、「今年もみなさんのお力を借りて益々充実した運営を行いたいと思います。宜しくお願い申し上げます」の挨拶のあと、石垣師範の乾杯で歓談に入りました。

各団体からの報告では、今年合同講習会主管道場である合気道大宮道場から、参議院選挙絡みで難しい中、500畳を上回る県立武道館を確保し、すでに準備が着々と進んでいる様子が、所沢市合気道連盟からは2月初め市の武道祭に参加し、他武道の取組みを学び、交流も深めたことが報告されました。市の武道祭に参加については、入間幸武館からも報告がありました。

A&P石垣道場の石垣師範が「花マルマーケット」というテレビ番組に出演し、人にぶつからない歩き方・基本技の幾つかを披露された話に座が盛り上がりました。石垣道場では恒例の海外合宿も、タイで行われたとのこと。15周年記念行事を盛会のうちに終え、会員が増加している志木合気会の現況。今年30周年記念行事を予定している越谷市合気道連盟からは、その取組みに向けた意気込みが窺えました。

当面の県連予定

- ◎県連理事会 日時：平成16年4月18日(日)
- ◎第19回県連少年錬成会(理事会同時開催)
場所：狭山市市民総合体育館
日時：平成16年4月18日(日)午後2時
- ◎第22回県連合同講習会
場所：さいたま市大宮武道館
日時：平成16年6月20日(日)午後2時
- ◎第22回県連定期総会
日時：平成16年5月16日(日)
場所：埼玉会館予定

各団体・演武会特集 (平成17年)

入間幸武館道場

関戸 章弘

30周年演武大会を終えて

入間名産狭山茶の茶畑が広がる緑の絨毯の中に幸武館道場はゆったりと建っています。ここに合気道部が創立されて30周年を迎えました。また、入間市の合気道連盟も発足25周年となりました。このことを多くの方々と共に祝い、その発展の喜びを記念演武大会として、去る11月9日(日)に入間市武道館において盛大に挙行了いたしました。

合気会本部道場よりは道主植芝守央先生、本部道場師範増田誠寿郎先生をお迎えし、入間市長木下博様、県会議員をはじめ多数のご来賓において頂き、賛助団体の会員の皆様、関係者の参列者の整然とした雰囲気の中、午後1時開会いたしました。

幸武館の道場演武は最初に少年部の小中学生の生き生きとした演武から始まりました。成人部では級位者の真剣さのあふれる演武・有段者の熱のこもった演武を行い、その後、越田政美7段講師の高段者の風格に満ちた演武、幸武館生みの親である今年喜寿を迎える館長中正吉6段の年齢を感じさせない演武、最後に関戸章弘7段師範の力強い演武で締めくくりました。続いて、幸武館道場の指導に大変ご尽力頂いている増田誠寿郎師範の気迫に満ちた演武を披露頂き、参加者一同技の一端でも吸収すべく身を乗り出して見入りました。

これに続き、参加16団体120余名の賛助演武が披露されました。あるいは激しく、あるいは大波のようにゆったりとそれぞれの道場の雰囲気や演武で示され、合気道の様々な形を知るよい機会になりました。

最後は道主の一点の隙もない、流れるように華麗で気迫に満ちた総合演武で結んで頂き、参加者一同の心に深く焼き付けられました。

演武会は滞りなく終了し、5時より丸広デパートのさくら草ホールにて直会が持たれました。

来賓の挨拶の後、乾杯で懇親は始まりました。幸武館会員で尺八師匠の峰雄吉則氏の尺八演奏、賛助の津軽三味線の演奏も交え、直会参加者90人近くが旧交を温め合気道への熱い思いを語り、またの再会を約束して和気あいあいのうちに散会致しました。(松長記)



↑ 開会式の風景



↑ 道主の面前での演武



↑ 関戸師範の演武

合気道和光支部

永井 亜希子

—— 第32回演武会を終えて

今年もまた、1年に1度の大舞台がやってきた。毎回、演武会前になると、道場全体の雰囲気緊張に包まれる。今年は、その緊張度がいつそう高かったように思う。というのも、今年は演武会初参加の人が多かったからだ。特に子供に関しては、今年入会した子が多く、演武会がどんなものなのか知らない。おとなしく他の人の演武を見てくれるか、きびきびと動いてくれるかと、大人は心配しっぱなし。ただ、川路先生の意気込み、気合を感じたのか、みんな直前まで普段以上に一生懸命稽古に励んでいた。

そして、演武会当日。会場は今年もサンアゼリアの舞台。観客も多く、いやがおうにも緊張感が高まる中、川路先生の絶妙なコメントが炸裂した説明演武で32回目の演武会は始まった。子供たちの演武、有級者、有段者による自由演武と演武会は滞りなく進む。緊張している大人とは反対に、子供たちの演武はとても自然体。稽古の成果が十分に発揮できていた。当の私かというと、もう5回目の演武会参加だということに今年もまたガチガチ。演武が始まった途端、頭が真っ白になり、何をしたのかほとんど記憶にない。いつになったら、冷静に演武をすることができるようになるのだろうかと考え込んでしまった。

その後、太刀演武、賛助演武などに続いて、最後は川路先生による総合演武。ところ狭しとあばれまくり、次々と相手を投げていく力強い演武に、今まで大人しく舞台を見ていた子供たちから「おおっ」という歓声が上がった。演武会は、自分の稽古の成果を見せる場であると同時に、相手を魅せる演武をする場でもあるのだと、演武会の意義を改めて感じさせられた。他支部の方を交えての直会も大いに盛り上がり、今年も有意義な演武会だったと思う。来年の演武会に向けて和光支部全体が成長できるよう、また努力の日々が始まる。



志木合気会

越智 啓喜

—— 「創立15周年記念演武会を開催して」

平成15年6月22日、志木市民体育館柔道場にて、創立15周年記念志木合気会演武会が開催されました。当日は広い柔道場を埋め尽くし、場外見学者も出る程の大盛況となりました。遠くは神戸、奈良から招待演武者をお招きすることができ、時間の許す限りの演武に場内拍手喝采の音が鳴り響きました。また(財)合気会合気道本部道場、多田宏師範(九段)をお招きし、総合説明演武を行い非常に有意義な演武会になりました。

ここで簡単に志木合気会の紹介をしておきます。志木合気会は樋浦直久師範(平成8年5月27日ご逝去・80歳、七段)が昭和63年に合気道黎明道場の協賛道場として志木市に創設されました。今は会員約50名で日々合気道の稽古に精進しています。

現在は会員にも恵まれ十分な稽古ができていますが、創設当時は会員不足で大変だったそうです。しかし、この数年新規会員にも恵まれ、週二回の継続した稽古を続けています。

志木合気会は、老若男女アットホームな雰囲気稽古ができる道場です。初心者は基礎稽古、中級者は袴を目指しての稽古、そして有段者は指導者としての稽古を行い、各自目標を持って稽古に励んでいます。

今後とも亀井格一師範(七段)、志木合気会代表三輪明(五段)を中心として、20周年、30周年を目指して稽古に精進していきますので、今後共よろしく願いいたします。

最後になりましたが、今回の演武会に参加ご協力頂いた、多田師範をはじめとする各道場、大学合気道部の皆様にお礼を申し上げます。

今後、合気道を通じて、交流ができる場を大切にし、お互い楽しみながら稽古に励んでいきたいと思っております。



道場だより

合気道大宮道場

石川 大

佐々木将人師範の講習会

私達、大宮道場では、佐々木師範の講習会が終わらなければ、年が明けないと言われている。なぜなら佐々木師範は、初心者・有段者を問わず合気道を学ぶ者に対し、合気道を根本から説いてくださるからである。否、合気道に留まらず日常生活の心得、社会から更には、宇宙の真理にまで及ぶ・・・。

『先ず呼吸法』と言っても座技ではなく、まさに、“呼吸”である。個人的には、かつてヨガを学んでいたこともあり、呼吸法について多少の理解はあるものの、実に奥深い世界である。息を吐き切り、そこから吸いに転ずる気の動き。また、吸気から呼気へ、まさに静中の動である。立ち、座ることのなかにも、師の気の動きについての教えは続く。動きとは逆の方向へ気は流れる。体の動きは気の動きと対をなし、其の中心に自己はある・・・。

『先ずは、一教・・・。始めに教わり、最も難しい。一教十年。』たまたま近くに座った為、師範の解説の受けを賜る。『なんだアング白帯だったの?』『!・・・。はい、稽古が足りないモノで・・・』年に一回か二回しかお目にかからない私の顔をも記憶する其の明晰さは老いて益々健在である。

『楽しくなければ、合気道ではない!皆笑え!』。稽古の終りに必ずかかる、この言葉こそまた喝破された真理である。これほどに、豪快に皆を突き動かす気を放つ師に私はお目にかかったことがなかった・・・。

直会においても一般には聞けないような貴重なお話があり、各人の新たな年へ向けた貴重なお言葉を頂くことになる。数ある師の名言の中で初めて目にしたお言葉であった。手本を見せてくださる方がいらしても、それを実践するのは己である。胸に深く刻み新年へむかう。

合気会 当面の主な日程

- | | | |
|------|-----|-----------------|
| 4/26 | (土) | 開祖御命日徳ぶ会 |
| 4/29 | (火) | 合気神社大祭(岩間) |
| 5/25 | (土) | 第41回全日本演武大会 |
| 7/20 | (日) | 第25回全日本少年合気会錬成会 |

桶川愛気会

榎本 明宏

夏季合宿に参加して

今年の桶川愛気会夏季合宿は、8月2日3日の一泊二日で山梨県の河口湖、赤石旅館に宿泊しました。参加者は大人18名、子供30人で多くの人に参加していただき、大変好評でした。

行きのバスの中では色々なゲームをし、大人子供含め盛り上がりました。旅館に着き、子供たちは天上公園とハイキング、遊覧船へと出掛けました。大人は、一息入れて、早速旅館の後ろにある道場にて、石川師範の指導のもと、稽古が始まりました。基本である転換から始まり、応用技まで多数教えて頂き、本当に勉強になりました。技を教える前にお手本を見せてもらいますが、これぞ本物の合気道だとつくづく感じます。これからは少しずつですが、自分なりに考えて努力していきたいと思えます。

夜になりバーベキュー大会をしました。多勢で食べる食事は、とても楽しくにぎやかな物でした。食後、花火大会、大声大会などをやり、普段稽古では見られない皆様の一面が見れ、親睦が深まりました。この日は、あっという間に過ぎた一日でした。

翌朝六時に起床後、ラジオ体操から始まり食事の前に全体での朝稽古をしました。食後、大人は約二時間の休憩後、再度稽古に励みました。一方子供たちは、勉強の後、猿回し劇場へと行きました。子供たちが旅館到着後、昼食を取り、バスでの帰宅となりました。サンアリーナ到着後、子供たちは、迎えに来た親御さん達と帰って行き、無事何事もなく夏季合宿を終える事が出来、とても良かったと思えます。

一泊二日という短い合宿でしたが、中味はとても充実し、桶川愛気会のメンバーとの結束が深まった様に感じました。今後も合気道を通して、人間関係をよりいっそう深めていきたいと思えます。

